

留学生ら県内就職を 徳島市で23社が説明会

県内企業の担当者から説明を受ける
留学生＝徳島市の四国大交流プラザ



外国人留学生らに県内での就職を促すグローバルキャリアフェア(県、県労働者福祉協議会主催)が13日、徳島市の四国大交流プラザであり、中国やベトナム、

インド、米国など10カ国の37人が参加した。

ITや飲食、建設、医療福祉、ホテルなど23社がブースを設けた。参加者は企業担当者から事業概要や募集職種、勤務形態、給与水準について尋ね、自分が持つ資格や特技をアピール。

担当者は外国人を雇用する意義を説明し、日本語がうまく話せない人には通訳が付いて対応した。

四国大経営情報学部4年のネパール人留学生ラミチヤネ・サガルさん(29)は4カ国語を話すのが武器で「IT企業でシステムエンジニアやプログラマーの仕事を探すつもり。できれば住みやすい徳島で就職したい」と熱心に企業の話聞いていた。

ソフトウェア開発・ウェブチップス(徳島市)の野原直一社長(51)は「日本語のできる外国人エンジニアは魅力。徳島在住の留学生は重要な人材で、マッチングのチャンスをうまく生かしたい」と意欲を見せた。

(奥村靖之)